

科目名	グローバルインターンシップ	英文表記	Global Internship	2016/3/22						
科目コード	6022									
【電子通信】兼城千波 技術職員名:				作成						
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間				
全コース	専1・2	選	学修	2単位	実習	集中講義				
科目目標 【MCC目標】	① 海外での研修(企業・語学研修など)を通じて実践的な技術・語学力を身につける。 ② 異文化理解に必要な基礎的な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 ③ 海外での研究・学習を通して、グローバルな視点で物事を考え、研究を遂行できる能力を身につける。 【6-3-3 VII-C】自らの主体性や意欲の向上から、技術者に要求される創造的実践性、複眼的視野を持つことができる 【6-3-3 VII-C】品質、コスト、効率、スピード、納期などに対する視点を持つことができる 【6-3-3 VII-C】チームワーク力、リーダーシップ力、マネジメント力などを身につけることができる									
総合評価	① 研修中の日誌と報告書 50% ② 研修先の評価レポート 20% ③ 研修後の報告書およびプレゼンテーション 30% 履修に必要な書類: 受入許可書および日程表(この提出をもって履修許可とする)、日報、派遣先からの評価書、報告書(様式任意)、報告書(学校様式2)、発表会資料、履修履									
科目達成度目標とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック			セルフチェック			
	40%	海外での研修(企業・語学研修など)を通じて実践的な技術・語学力を身につける。 【機械システム】A-1, C-1, C-2 【情報通信システム】B-1, B-3 【メディア情報】B-1, B-3 【生物資源】B-1, B-3	① 研修中の日誌と報告書 50% ② 研修先の評価レポート 20% ③ 研修後の報告書およびプレゼンテーション 30%で評価する	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)				
	30%	異文化理解に必要な基礎的な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 【機械システム】A-1, C-1, C-2 【情報通信システム】B-1, B-3 【メディア情報】B-1, B-3 【生物資源】B-1, B-3	① 研修中の日誌と報告書 50% ② 研修先の評価レポート 20% ③ 研修後の報告書およびプレゼンテーション 30%で評価する	実務経験を通じ、その内容を理解し、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけ、自らのキャリアデザインにつなげることができる	実務経験を通じ、その内容を理解し、職業意識を向上させることができる	研修内容を理解し、日報や報告書に記述することができる (指示された通りに行動し、指示された提出物を期日厳守で提出する)				
	30%	海外での研究・学習を通して、グローバルな視点で物事を考え、研究を遂行できる能力を身につける。 【機械システム】A-1, C-1, C-2 【情報通信システム】B-1, B-3 【メディア情報】B-1, B-3 【生物資源】B-1, B-3	① 研修中の日誌と報告書 50% ② 研修先の評価レポート 20% ③ 研修後の報告書およびプレゼンテーション 30%で評価する	実務の内容と意義について理解し、自ら考え、関係者と相談しながら、実務を遂行することができる。	実務の内容と意義について理解し、関係者と相談しながら、実務を遂行することができる	実務の内容と意義について理解し、意義に基づいて実務経験をし、その内容を日報や報告書に記述することができる (指示された通りに行動し、指示された提出物を期日厳守で提出する)				
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学	
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-3, A-4, B-1, B-2, B-3	◎A-1, A-3, A-4, B-1, B-2, B-3, ◎C-1, C-3	A-1, B-1, C-1, C-2	A-1, B-1, C-1, C-2	
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合										
評価項目		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・実習・発表・成果報告等)	総合評価	セルフチェック		
基礎的理解		①②③	0	0	100	0	100	25		
応用力(実践・専門・融合)		①②③			25		25	25		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		①②③			25		25	25		
主体的・継続的学修意欲		①②③			25		25	25		
授業概要、方針、履修上の注意	【概要】 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。 1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。									
教科書・教材	教員作成資料、企業作成資料									

授業計画					
週	授業項目	時間	授業内容	自学自習(予習・復習)内容	セルフチェック
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンス		
2	インターンシップ先企業研究	9	企業研究、大学受け入れ先検討	企業、大学の調査	
3	インターンシップ	160	約2-4週間の企業研修・大学での研究 ①企業における多様性を理解し、自らの進路としてキャリアデザインを構築することができる ②企業における社会的責任を理解できる ③企業活動が国内外の他社との関係性を理解できる 【6-3-3 VII-C】自らの主体性や意欲の向上から、技術者に要求される創造的実践性、複眼的視野を持つことができる 【6-3-3 VII-C】品質、コスト、効率、スピード、納期などに対する視点を持つことができる 【6-3-3 VII-C】チームワーク力、リーダーシップ力、マネジメント力などを身に付けることができる	研修研究内容の自己研究	
4					
5					
6					
7	成果報告まとめ	10	インターンシップ報告書の作成・報告会資料作成・報告	資料作成・プレゼンテーション	
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験	[2]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23	後期中間試験(行事予定で適変更可)				
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		180	実時間	135	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	企業内研修・大学研究での課題レポート			各2時間×5回	
②	課題発表(テーマに沿った課題について調べ、発表資料を作り、発表する。)			各2時間×5回	
③					
				計20時間	
備考欄					
<p>(JABEE関連共通記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで定める。 <p>(各科目個別記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この科目の主たる関連科目は、◎インターンシップ(4年)、卒業研究(5年)、特別研究(専攻科1・2年)である。 <p>(モデルコアカリキュラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。 <p>(航空技術者プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【航】は航空技術者プログラムの対応項目であることを意味する。 <p>(学位審査基準の要件による分類・適用)</p> <p>科目区分：[関連科目] 工学および周辺技術等に関する科目</p>					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)